

2021年3月12日

独立行政法人大学入試センター
理事長 山本廣基様

食のコミュニケーション円卓会議
代表 市川まりこ

私たちの要望書について、大学入試センターからの回答書をいただき、ありがとうございました。そのご回答に対する私たちの考え方をお知らせします。

1. 「指摘については、今後の問題作成の際の参考とし（中略）そのようなことがないように努めてまいります」とのご回答から、問題を認識して頂けたと考えます。今後このようなことが繰り返されないことを心から願っております。
2. 回答書に「英文の正しい解釈としては・・・問題文中に示された甘味料を指すものではありません」とありますが、それでは、どの甘味料を指すのでしょうか。前回も申し上げましたが、流通している甘味料の安全性は確認されているという事実を無視した間違った内容の文章を、事もあろうに栄養学の教科書という設定で受験生に読ませるといふ、不適切な出題文であったことの責任は免れないと思います。
3. 「出典については、試験問題を作成する上での秘密保持の観点から回答は差し控え・・・」と書かれていますが、問題文の出典を明らかにすることに秘密保持の必要性があるとは考えられません。出典を読むことにより、出典では問題となっている甘味料についてどのように書かれているかを確認し、今回の問題の本質がどこにあるのかを把握したいと考えております。
4. 私たちの要望である「受験生や多くの関係者に誤解を招かないよう、今回記載のある甘味料は全て日本も含め世界各国で安全性確認が行われており、安全なものであることを、ホームページなどを通じて情報提供を行ってください」についてご回答いただけなかったことを大変残念に思います。何らかの措置をとっていただけることを再度要望します。
5. 今回の件で、大学入試センターにおかれましては、出題者には出題内容について社会的な意味合いを十分考慮させるなどの再発防止策を検討してくださいと期待しております。私たちは来年度以降の大学入学共通テストにも注目していきたいと思っております。